

## 植物と人々の博物館メールマガジン

第 91 号 2022 年 9 月 1 日発行

2023 年は国際雑穀年



残暑お見舞い申し上げます。佐野川の雑穀畑はとても良く実り始めています。宮本さんの丹精と自給農耕ゼミやワノサト・プロジェクトの皆様のご参加のおかげです。キビは9月4日に収穫する予定です。西村さんの庭でもアワが出穂しています。縄文ペランダの雑穀もとても立派な穂になり、鳥に狙われるようになりました。田村さんから頂いた陸稲、守屋さんから頂いたヒヨットは開花し始めました。

素のままの美しい花々、物事、作品、言葉、その中に真情を見いだしては称賛し、日々の暮らしの中で共感し、結び、希望を求めて励まし合いたいです。ぜひ友の会会員になってくださり、ご一緒に植物をめぐる生物文化多様性、在来品種の保全のための調査研究や普及活動にご参加ください。

### 1. 植物と人々の博物館

友の会会員になって、ご一緒に博物館づくり活動をしてくださると嬉しいです。

#### ○予定

- 1) 開館・作業予定日：9月中に1～2日は開館します。
- 2) 公共の場における再公開について、試案を検討しています。
- 3) 民族植物学ノート第16号の原稿は12月を締め切りにして募集します。ご寄稿ください。森とむらの図書室、日本村塾、農学校などの小史を記録します。編集子は大国主命と八上比売の長子、木俣の神の末裔として、信仰論を寄稿する予定です。その後の冒険学校、ちえのわ農学校、日本村塾の小史も記録してほしいです。

第15号までのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ（下記：ミュージアムグッズの項）で読めます。 <http://www.ppmusee.org/goods.html>

#### 4) 電子書籍：

一部公開中の雑穀の民族学関係の書籍、選集 III『日本雑穀のむら』は年内完結を目指して加筆修正しています。「第5章中部日本の雑穀農耕文化」を公開し、続いて北海道、とくにアイヌ民族の農耕文化の整理を進めています。選集 VI『随筆集—生き物の文明への黙示録』に順次新作を追加しています。選集 IV『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』の読み書きを進めて、順次公開します。これら4冊のまとめとして選集 V “Essentials of Ethnobotany” の一部公開を進めます。

- 5) 公式 HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/> に含めて民族植物学関係 HP：生き物の文明への黙示録も国会図書館インターネット資料収集保存事業 ([ndl.go.jp](http://ndl.go.jp)) で毎年1回収録されるようになりました。

<http://www.milletimplic.net/>

#### 6) 森とむらの図書室への寄贈など

「お米の勉強会会報」「クリンネス」「現代農業」「うかたま」「地域」「環境と文明」、

ありがとうございます。

## 7) 植物と人々の博物館基金 PPM Foundation

大口寄附ではなく、クラウド・ファンディングや助成・補助よりも、できるだけローテクで貯金箱に眠っている 1 円玉からする任意募金を以前から考えていました。植物と人々の博物館の維持のために会員になってくださるか、ご寄付あるいは整理作業のご協力を、よろしくお願いします。未知の方を含めて、10 余人の方からご寄付を頂いています。ありがとうございます。自然文化誌研究会に基金費目を設けました。費目指定でご寄付をいただけるとありがたいです。郵便振込口座は下記です。

講座名義：特定非営利活動法人自然文化誌研究会

口座番号：00100-2-665768

## 2. 自然文化誌研究会

こすげ冒険学校は 8 月 5 日～11 日の 6 泊 7 日で無事開催できました。参加者は小 4 から中 1 までの 15 名で、スタッフはのべ 33 名となりました。INCH まつりライブはコロナウィルス対応のため開催中止になりました。本年の主な活動予定は下記ウェブサイトにあります。まふゆのキャンプは開催予定です。

## 3. 雑穀街道普及会：

この活動は、中川さんや編集子のような縄文人の子孫の最後の抵抗で雑穀栽培を伝承してきました。縄文土器を博物館に展示することも大事ですが、先人が生きたまま継承してきた雑穀の種子を切らさないことにも、関心を向けていただきたいと思います。かさねて、日本列島における縄文農耕の歴史、その伝統的知識体系の蓄積を絶やさないように、もう時が迫っているので、消滅させないように切にご助力をお願いします。

### ○報告

#### 1) 雑穀街道協議会準備会：

FAO 世界農業遺産の申請団体となる雑穀街道協議会を創るために、準備活動を進めています。日本雑穀協会、トランジション・ジャパン、家族農業プラットフォーム・ジャパンなどが、後援や協賛団体になってくださいました。現況は下記のサイトにあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/milletstrasse/approval22811.pdf>

#### 2) 自給農耕ゼミ（佐野川）：

佐野川の宮本さんの畑にアワ、キビ、モロコシのほか、シコクビエ、ヒエ、ハトムギ、センニンコク、陸稲は良く生育しています。これから、キビを収穫して、来年の国際雑穀年に発泡酒にする予定で、山口さんの醸造所をお願いしています。雑穀・麦や茶もいろいろな作業が続きます。栽培・加工・調理法などを学びたい方はご連絡くださり、ご参加ください。時期に応じてお誘いします。簡単な栽培方法は次のサイトにも公開してあります。ご質問にはいつでもお答えします。

<http://www.milletimplic.net/weedlife/farmsklec8p.pdf>

#### 3) ワノサト・プロジェクト

8月6日に上野原（旧島田中学校）など視察、佐野川の雑穀畑で防雀網張り、8月7日は、猿橋から、小菅（自然文化誌研究会の冒険学校、植物と人々の博物館）、西原（びりゅう館、旧西原小学校）など雑穀街道巡検を視察しました。8月20日と25日は、旧西原小学校を巡る可能性について議論をしました。

#### ○予定

1) 東京学芸大学創基150年記念の**雑穀発泡酒クラフトのプロジェクト**をご相談いただきました。自給農耕ゼミと一緒に、宮本さんの畑で栽培したキビとホップで藤野の醸造所に委託して醸す予定です。見積をいただいたので、学大創基と国際雑穀年記念発泡酒として企画を作成して、ご参加・寄付をお願いします。

2) 下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

<http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

なお、45年間、調査研究してきた『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletsworld/milletsn/jnmpmilvil.html>

雑穀街道普及会の会員や賛同者になっていただければうれしいです。趣意書や会則など、さらに「街道美味」は雑穀製品、佐野川茶やクラフト・ビールを紹介していますので、下記のホームページをご覧ください。会費や寄附は任意で、個人の意思を尊重し、あえて納入規定は設けていません。趣旨の賛同していただき、会員になっていただくようお願いしています。

遠くアフリカ、インドなどから極東にまで伝播してきて、縄文後晩期以降数千年、この島嶼に住む人々の命の糧であった数種の雑穀、日本における伝統的な雑穀栽培はいよいよ絶滅しそうな状況にあります。生きた文化財、雑穀や野菜の在来品種は種継をしなければ、死んでしまい、もう生き返らせません。生物文化の伝統的知識も継承されません。全国各地の伝統的雑穀栽培を継承する最後の篤農が90歳を超えようとしています。雑穀農耕文化複合は日本の山村が世界に誇る生きた文化財として、今を限りに絶滅させないように継承すべきです。雑穀街道をFAO世界農業遺産に登録申請する提案普及を続けます。広い心をもって、個人も地域社会も全国へ、さらに世界の起源の地にまで街道を繋げて行ってほしいです。2023年は国際雑穀年になります。どうぞご助力いただけますようお願いいたします。

#### 4. 環境学習市民連合大学 Civic United University for Environmental Studies

セミナーの動画や予習・復習資料 pdf および2022年の予定など、ご案内は下記のサイトにあります。 <http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

多くの世代が信頼の下に、ともに話し合い、深く考えて環境問題の解決を広く探りたいです。人々との間に信頼を築きたいです。セミナー座談会への参加希望やご質問などは下記にメールください。参加申込みをしてくださった方には当日の要綱、交通案内、zoomのURLなどをメールでお伝えします。

共通申込み連絡先：[kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

木俣美樹男（企画室事務担当）

## ○報告

**第8回環境楽習会** 8月28日(日)は13名の参加でした。

**話題提供者:** 深澤まどかさん(シブヤ大学)

シブヤ大学は無料で、学べる学びの場で、ボランティアスタッフが主体となって運営しています。目指すビジョンと具体的な活動から、市民大学の重要な役割と可能性を学び、その活動にはとても共感しました。

## ○予定

### 第10回自給農耕ゼミ(佐野川)

日時:9月4日(日) 予定 9:00~15:00 天候により変更有

○ **場所:** 神奈川県相模原市緑区の旧佐野川村上岩 宮本茶園の雑穀畑

○ **プログラム:**

話題:キビの穂刈による収穫作業。とても良い穂が出ています。

実技指導:宮本透、木俣美樹男(雑穀街道普及会)

内容:雑穀栽培の基礎技能を学びます。山間地の畑で栽培する雑穀は穂苺で収穫することが多いです。キビとソバは75日と言われてきたように、成熟が早いです。栽培の手引きを差し上げます。収穫したキビ穀粒で、国際雑穀年記念発泡酒(クラフトビール)をジャズブルーイング藤野で醸していただきます。

### 第7回自給農耕ゼミ(小金井)

日時:9月25日(日) 14:00~16:00

**場所:** 小金井市中町カエルハウスおよびオンライン(zoom)(定員:会場15名、オンライン20名)

**プログラム:** 心の基盤を創る自然体験、生活体験について話し合いたいと思います。

話題:冒険遊び、野良遊び、プレーパーク

話者:邦永洋子さん(NPO法人こがねい子ども遊パーク)

要旨: 武蔵野公園のプレーパーク、南学童農園、小金井環境市民会議環境学習部会のたんぼの時間、東京学芸大学のちえのわ農学校、プレーパーク、自然文化誌研究会の冒険学校などをつなげ、人々と経験を交流します。

**申込み連絡先:** 042-316-1511(カエルハウス運営委員会)または

[office@katayamakaoru.net](mailto:office@katayamakaoru.net) 資料代300円

### 第6回自給農耕ゼミ(小金井)

日時:秋に延期しました。

話題:屋敷林、都市農地の巡検 案内者:小谷俊哉さん(グリーン・ネックレス)

内容:梶野町周辺の屋敷林や農地の巡検。

コースイメージ:東小金井駅→梶野公園→スタジオジブリと周辺のジブリが取得したオープンスペース→瀧島さんの屋敷林と農地と賃貸アパートの見事な花壇→築樋→気に広がる武蔵野市の桜堤団地と新しい広場空間→東小金井駅。

環境学習市民連合大学は環境学習の理論と実践を普及啓発する目的で、ウェブサイトを作っています。環境学習・保全NP04団体と3個人から出発した市民大学です。主

旨は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学び合う環境学習市民連合大学をリンク・ページとして、インター・ネット上で運営することです。ヨーロッパの12世紀ルネサンスの先駆けとなった原初の大学は学び合いたい人々の学習者組合でした。都市を旅しながら教師も学生も互いに学びの自由を守護し合い、共助していました。入学資格、試験、授業料、卒業資格はありません。どなたでも、学び合いたい人々が自由に集まるのです。

今この時、人新世の変曲点で、人生における学ぶ意味について改めて考え直し、再びルネサンス生き物の文明を日本から起こしたいです。この市民大学は任意無償提供の学習素材、任意寄付で維持します。この提案にご賛同の方々の参加（リンクなど）を広く求めます。よろしくご連絡をお願いします。最近の録画、話題資料メモは上記サイトにあります。

## 5. OK シードプロジェクト学習会 「雑穀街道」をFAO世界農業遺産に！

山村の小規模農耕における生物文化多様性を保全する

日時：9月22日（木） 20：00～21：30

開催：オンライン（申し込みが必要です）

講師：木俣美樹男（東京学芸大学名誉教授、農学博士）

学習会参加お申し込み：<https://okseed.jp/eventapply/>

~~~~~

**植物と人々の博物館**（山梨県小菅村）：館長：木下善晴、顧問研究員；安孫子昭二

研究員：木俣美樹男（東京、専任、担当運営委員）、西村俊（石川、担当理事）、井村礼恵（東京、担当運営委員）、川上香（長野）、渡辺隆一（長野）、Sofia M. Penabaz-Wiley（千葉）、伊能まゆ（ヴェトナム）ほか

公式HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

**雑穀街道普及会** <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務担当幹事 メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

栽培担当幹事：宮本透

民族植物学関係HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

**エコミュージアム日本村／ミュージアム研究会／トランジション小菅**（山梨県小菅村）：

代表 亀井雄次（山梨小菅村）

**自然文化誌研究会**：代表 中込卓男（東京）、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

<http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

**環境学習市民連合大学** <http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

企画室事務担当：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

~~~~~

写真



西村さんの庭のアワ



宮本さんの畑のモロコシや雑穀類





木俣の縄文ベランダのシコクビエ、ヒエ、陸稲、ヒヨット、路傍のモロコシ